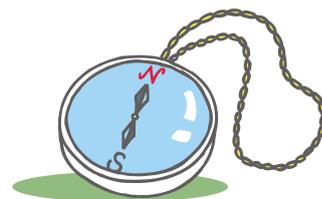


羅 針 盤



第 6 号 令和2年（2020年）6月8日（月）

◆ 親しい人と心地よく過ごすために！

デンマークには「ヒュッグ（huge）」という、人とのつながりを感じながら心地よく過ごすことや、そこから生まれるぬくもりを指す、理想的なライフスタイルを表す言葉があるそうです。新型コロナウイルスの影響により生活様式が変わろうとしている今、北欧の国で生まれた考え方から学べることもたくさんあるのではないのでしょうか。「ヒュッグ」の特徴として、家族との親密な時間を過ごすこと、リラックスして物事をゆっくりと捉えること、全員の幸せを重んじる価値観を反映させることなどが挙げられるようです。デンマークではどのようにして、人と人が連帯し、人々が幸福を感じる社会をどのように形成してきたのか、国連が報告している世界幸福ランキングで常に3位以内の上位にランキングしているこの国では、「安全や信頼が何よりも大切である」ことが人々の考えの中にいきわたっているようです。この「安全であること」と「お互いに信頼してできあがる社会形成」のためには、厚生労働省が提唱している「新しい生活様式」が、これからの私たちが暮らしていく社会では必要不可欠となっていくのかもしれませんが。感染防止の3つの基本とされている、①身体的距離の確保（できるだけ2m（最低1m）間隔を空ける）、②マスクの着用（会話は可能な限り真正面は避ける）、③手洗いの励行（手洗いは30秒程度かけて、水と石鹸で丁寧に洗う）や、「3密（密集、密接、密閉）」の回避、咳エチケットの徹底、こまめに換気すること、他にも、買い物や食事、公共交通機関の利用など、これまで過ごしてきた生活様式とは大きく違うスタイルが求められ、これからの生活様式として定着していくことになっていくのかもしれませんが。社会では、「働き方」についてもテレワークによる在宅勤務やWeb会議などの実施が行われ始めており、学校での教育活動についてもオンライン授業が導入の方向へと少しずつ動き出しています。それでもやはり、学校は君たち生徒の皆さんが集う場所であり、みんなの笑顔があふれ、元気な声が響かなければ、人と人の心の通い合う教育が進んで行かないような気がしてなりません。IT企業の先頭を走り続けているアマゾンジャパンのジャスパー・チャン社長は、目先の業績にはこだわらず、100年先を見通した経営を考え、資金を将来に投資することを第一に、世界の品質向上に力を注いできました。その彼は、愛読書である「パフォーマンスアップ3つの法則」に書かれている、「自分の未来、自分で決める」という言葉に感銘を受けたそうです。信頼や誠実さを意味する「イングリティー」の大切さについても説明が書かれていて、「心の姿勢、態度」が土台であることは、学校の教育活動でも最も大事にしていることの一つです。

さて、季節はいつの間にか、すでに夏に向かう真ただ中となっています。新緑が映え、ツバメが訪れる季節がやってきて、巣づくりをはじめている風景も見られるようになってきました。（ツバメは春を呼ぶ渡り鳥として有名ですが、皆さんは知っていましたか？）ツバメが枯れ草をくわえては、軒先を往復して一生懸命に巣づくりに励んでいる姿は、この季節の風物詩です。イギリスの作家オスカー・ワイルドの童話「幸福な王子」では、不幸な出来事が起こる街並みを眺めていた王子の立像に代わり、ツバメが宝石や金箔を運びます。昔から「幸福の使者」と呼ばれるツバメが訪れることで、一日でも早く新型コロナウイルス感染症が完全に終息する日がやってくることを願うばかりです。

